



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 マミヤ・オーピー株式会社

コード番号 7991 URL <http://www.mamiya-op.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 矢崎 登

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 水谷 富士也

TEL 03-5437-2311

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	5,908	24.9	234	△32.8	222	△54.0	140	△55.1
26年3月期第1四半期	4,728	△18.5	349	△63.7	484	△52.5	312	△63.8

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 119百万円 (△66.9%) 26年3月期第1四半期 361百万円 (△58.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	1.50	1.50
26年3月期第1四半期	3.35	3.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	26,257	13,856	52.5	147.68
26年3月期	26,038	14,201	54.3	151.41

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 13,784百万円 26年3月期 14,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,000	24.5	1,400	26.4	1,400	△15.5	800	△23.3	8.57
通期	27,000	17.5	3,000	19.0	3,000	△3.9	1,800	1.4	19.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	93,481,700 株	26年3月期	93,481,700 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	141,049 株	26年3月期	139,546 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	93,342,154 株	26年3月期1Q	93,263,375 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。従いまして、諸要因の変化により実際の業績等は記載事項と大きく異なる可能性があることをあらかじめご承知おさください。業績予想の背景、前提条件等につきましては、添付資料P. 2「(1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな回復基調が続きながらも、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、やや弱含みで幕を開けました。しかしながら、その悪影響は政府・日銀による各種経済・金融政策の効果等を背景として次第に薄れ、企業収益の改善による設備投資増加や雇用情勢改善等の傾向がみられる中、海外景気の下振れ懸念は残るものの、景気は緩やかな回復基調を取り戻しつつあります。

このような経済環境の下で当社は、「ものづくりを通じて信頼のある技術と品質をお客様に提供し豊かな未来を拓いていく」との経営理念を掲げ、グループの司令塔として戦略的手法を駆使して推進いたしました、経営資源の選択と集中による自己変革を通じて、健全かつ強固な経営基盤を着実に構築してまいりました。

電子機器事業におきましては、遊技場事業者数が新規出店数も含め減少基調にあることや、少子高齢化等による遊技参加人口の減少、消費税率引き上げにより自動車や白物家電等の高額商品に駆け込み需要が集中したことで、パチンコ等の遊技における消費の余力及び意欲が減退したこと等により厳しい事業環境が続いております。このような情勢の中で当社は、OEM先顧客との盤石な信頼関係を基盤として、優秀な開発要員の確保・育成による開発力強化に努め、NFC対応ICカードリーダー/ライタ搭載可能なタッチパネル式小型券売機、本格的市場投入も間近な自律走行システム「I-GINS」、介護機器市場への参入を視野に入れて開発を進めております。また、自社ブランド製品のバリエーション強化による新市場の開拓に、粘り強く取り組んでおります。

他方、スポーツ事業におきましては、消費税率引上げによる駆け込み需要の反動等により依然として厳しい事業環境が続いているものの、国内スポーツ用品市場がプラス成長となる中で、ゴルフ用品市場につきましても東日本大震災から約3年を経て、ようやく震災前の水準を概ね回復したこともあり、総合ゴルフ用品メーカーであるキャスコ(株)の国内における業績が比較的堅調に推移しております。また、海外におけるカーボンシャフト事業につきましては、OEMシャフトビジネスの拡大やPGAツアーでのUSTシャフト使用率向上のための諸施策に、前年度に引き続き粘り強く取り組んでおります。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は59億8百万円（前年同期比24.9%増）、営業利益は2億34百万円（前年同期比32.8%減）、経常利益は2億22百万円（前年同期比54.0%減）、四半期純利益は1億40百万円（前年同期比55.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(電子機器事業セグメント)

電子機器事業セグメントは、増税対応に関し貸玉料金を内税方式と外税方式いずれを採用するかについて業界全体が対応方針を決めかねる中で、遊技機市場における他の遊技事業者の動向の様子見姿勢や来年の再増税への対応を含めた買い控えによる新規設備投資減少等の影響により、OEM製品の販売は大幅に減少致しました。例年、需要増が見込まれる4月においても設備投資に関して増税対応に関する需給双方の手探り感が見られ、複数の消費税率対応製品による市場シェア確保が急務となっており、部品販売は好調に推移したものの、前期と比較して増収・減益となりました。

この結果、電子機器事業セグメントの売上高は44億29百万円（前年同期比41.0%増）、営業利益は2億72百万円（前年同期比18.5%減）となりました。

(スポーツ事業セグメント)

スポーツ事業セグメントは、国内のゴルフ場来場者数及びゴルフ場収益が共に、前年と比べ横ばいではあるものの、ゴルフ用品市場が東日本大震災から約3年を経て震災前の水準となったこともあり、国内のゴルフ関連市場は回復の兆しを見せております。

キャスコ事業は、国内では「DOLPHIN WEDGE（ドルフィンウェッジ）」クラブが順調に推移すると共に、海外においては高価格帯クラブ「Kasco Royal（キャスコロイヤル）」の販売が中国・台湾を中心に好調でしたが、他方で本年4月の消費税率引上げによる国内販売の減少、中でもグローブ・ボールといった消耗品の販売が、増税前の駆け込み需要の反動によって落ち込む等のマイナス要因があり、とりわけ利益面では厳しい状況となっております。

他方、海外市場におけるカーボンシャフト事業に関しましては、Recoil（リコイル）及びElements Chrome（エレメンツクロム）といったシャフトに対する市場の関心が高いものの、カーボン素材（プリプレグ）の価格上昇と米国市場でのシャフト価格の下落及び全米各所で続いた寒波等の悪天候によるクラブ等の販売への悪影響、工場所在地であるバングラデシュにおける政情不安により、依然として利益確保が厳しい状況となっております。

この結果、スポーツ事業セグメントの売上高は14億47百万円（前年同期比7.4%減）、営業損失61百万円（前年同期は3百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は262億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億19百万円増加いたしました。これは主として、現金及び預金の減少26億93百万円等があったものの、受取手形及び売掛金の増加7億7百万円、商品及び製品の増加3億24百万円等があったことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は124億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億64百万円増加いたしました。これは主として、未払法人税等の減少6億9百万円があったものの、支払手形及び買掛金の増加7億38百万円、短期借入金の増加4億円等があったことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は138億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億45百万円減少いたしました。これは主として、利益剰余金の減少3億26百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想および配当予想につきましては、平成26年5月15日に公表いたしました数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,437,667	5,744,623
受取手形及び売掛金	6,609,191	7,317,180
商品及び製品	1,912,199	2,237,140
仕掛品	355,298	402,423
原材料及び貯蔵品	965,940	1,004,632
繰延税金資産	130,529	121,796
その他	137,566	634,996
貸倒引当金	△20,982	△11,721
流動資産合計	18,527,411	17,451,069
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,396,980	1,582,435
機械装置及び運搬具(純額)	284,327	265,355
工具、器具及び備品(純額)	94,241	92,397
土地	1,326,839	2,514,887
リース資産(純額)	7,324	6,676
建設仮勘定	34,706	40,588
有形固定資産合計	3,144,419	4,502,341
無形固定資産		
のれん	871,745	839,520
その他	236,535	226,616
無形固定資産合計	1,108,280	1,066,136
投資その他の資産		
投資有価証券	2,546,023	2,534,853
長期貸付金	65,501	56,557
繰延税金資産	209,258	211,184
その他	515,364	511,336
貸倒引当金	△78,010	△75,707
投資その他の資産合計	3,258,137	3,238,224
固定資産合計	7,510,838	8,806,702
資産合計	26,038,249	26,257,772

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,320,622	5,059,412
1年内返済予定の長期借入金	897,104	905,936
短期借入金	2,700,000	3,100,000
未払法人税等	705,529	95,860
賞与引当金	113,427	45,582
その他	641,936	791,591
流動負債合計	9,378,619	9,998,382
固定負債		
社債	550,000	550,000
長期借入金	873,049	823,387
繰延税金負債	56,008	58,287
役員退職慰労引当金	54,494	56,949
退職給付に係る負債	579,164	589,135
資産除去債務	34,272	34,383
その他	310,816	290,561
固定負債合計	2,457,804	2,402,704
負債合計	11,836,424	12,401,087
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,958,747	3,958,747
利益剰余金	9,780,052	9,453,599
自己株式	△21,661	△21,984
株主資本合計	13,717,138	13,390,362
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76,600	72,728
為替換算調整勘定	378,469	354,885
退職給付に係る調整累計額	△39,306	△33,457
その他の包括利益累計額合計	415,763	394,156
新株予約権	27,466	29,590
少数株主持分	41,456	42,575
純資産合計	14,201,824	13,856,684
負債純資産合計	26,038,249	26,257,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	4,728,987	5,908,842
売上原価	3,193,033	4,486,548
売上総利益	1,535,954	1,422,293
販売費及び一般管理費	1,186,748	1,187,568
営業利益	349,205	234,725
営業外収益		
受取利息	613	2,267
受取配当金	19,478	21,423
為替差益	118,277	-
固定資産賃貸料	4,924	5,038
その他	14,349	8,643
営業外収益合計	157,643	37,373
営業外費用		
支払利息	15,968	17,667
固定資産賃貸費用	3,750	3,750
為替差損	-	24,841
その他	2,330	3,025
営業外費用合計	22,049	49,283
経常利益	484,799	222,814
特別利益		
固定資産売却益	-	303
特別利益合計	-	303
特別損失		
固定資産除売却損	151	207
投資有価証券評価損	9,999	-
特別損失合計	10,151	207
税金等調整前四半期純利益	474,647	222,910
法人税、住民税及び事業税	146,497	75,326
法人税等調整額	8,049	6,500
法人税等合計	154,547	81,826
少数株主損益調整前四半期純利益	320,100	141,083
少数株主利益	7,536	825
四半期純利益	312,564	140,257

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	320,100	141,083
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	360	△3,872
為替換算調整勘定	41,329	△23,341
退職給付に係る調整額	-	5,899
その他の包括利益合計	41,689	△21,313
四半期包括利益	361,790	119,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	356,480	118,650
少数株主に係る四半期包括利益	5,310	1,119

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。